

# 一般入試前期A日程2日目

## 国語

### I

出典 櫻井武『睡眠の科学』

睡眠について専門的に研究している著者による睡眠の仕組みを解説した本です。自然科学系の論説文になりますが、特に難しいことは書かれていませんので、内容の理解は容易でしょう。

**問1【漢字の書き取りの問題】**（解答番号は①～⑤）

全問正解は受験者の12%でした。「興奮剤」と「後遺症」は意外に不出来でした。

**問2【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ】**（解答番号は⑥・⑦）

空欄①は前後の「観察」「記録」「データ」などの言葉から科学的な用語が思い浮かぶでしょう。自然では考えられない「未来を予見するもの」「何かの暗示」が空欄②のヒントです。正答率はそれぞれ92%、21%でした。

**問3【空欄補充問題・前後の文脈から適当なものを選ぶ】**（解答番号は⑧）

2つ先の段落をよく読めば正解できるでしょう。正答率は63%でした。

**問4【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は⑨）

「融通がきく柔軟なもの」の意味をよく考え、睡眠の必要性を踏まえれば難しくありません。正答率は40%でした。

**問5【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は⑩）

次の段落以下の本文をじっくり読めば正答を導けます。②・③を選ぶ誤答が全体の63%に及びましたが、「大脳の視床が活動を高めている」「なんらかの運動をしている」が本文の内容と相違します。正答率は21%でした。

**問6【指示語の内容を考える問題】**（解答番号は⑪）

前後をよく読みさえすれば指示語の内容は容易に掴めるはずです。正答率は78%でした。

**問7【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は⑫）

傍線部Dの前後の説明がヒントとなります。正答率は77%でした。

**問8【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は⑬）

直前の文の内容を逆に考えれば正答は得られます。正答率は45%でした。

**問9【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は⑭）

次の段落に「不安や心配、恐怖などの感情と密接に関係する内容」とあります。正答率は79%でした。

**問10【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は⑮）

同じ段落を丁寧に読めば正答が導けるはずです。正答率は70%でした。

**問11【内容を理解して小見出しを選択する問題】**（解答番号は **16**）

この節の最初の一文や最後の段落にレム睡眠がなぜ必要かという主旨の記述がありますから、正答が⑥であることはわかるでしょう。正答率は36%でした。

**問12【内容を理解して小見出しを選択する問題】**（解答番号は **17**）

この節をよく読めばレム睡眠と不思議な夢の話が展開していることがわかるはずですので、⑧が正答であることに気づくのは難しくありません。正答率は43%でした。

**問13【内容合致問題】**（解答番号は **18**・**19**）

正答率は①が53%、⑨が44%でした。③や⑤を選択している受験者が散見されましたが、③は「精神機能に変調をきたさなかった」が不適切であり、⑤は「レム睡眠はノンレム睡眠にしばらく先行して現れる」が本文の内容に合致しません。記憶の固定や整理に関わっているのはノンレム睡眠なので②は不正解です。④は「レム睡眠時の運動学習によって引き起こされている」が、⑥は「断眠の危険性を覆すことになった」が、⑦は「すみやかに」が、⑧は「研究指導を受けた」がいずれも本文の内容と相違します。

## **II**

出典 後藤久『都市型住宅の文化史』

現在日本の住宅の成り立ちに関わる文章です。平安時代から戦後までのことが書かれている上に、専門的な用語もありますが、難しい文章ではありません。

**問1【漢字の書き取り問題】**（解答番号は **20**～**25**）

a 起居 b 鑑賞 c 提唱 d 抑留 e 風刺 f 共鳴

a「起居」は「規居」「起拳」、c「提唱」は「定唱」などの間違いがありました。漢字は単語の問題でもあります。様々なジャンルの本を読むようにしましょう。

**問2【空欄補充問題】**（解答番号は **26**）

空欄 **I** の前に「いかに狭い敷地であろうと」とあるのがヒントです。

**問3【空欄補充問題・文脈把握】**（解答番号は **27**～**29**）

空欄 **II** は、近世以降の変化を押さえる必要があります。空欄 **III** の直後や、次段落以降にある家庭電化ブームの記述がヒントです。正答率は16%でした。空欄 **IV** の次段落には、日本がアメリカの住生活文化の影響を強く受けた時期であることが述べられています。

**問4【内容理解】**（解答番号は **30**）

傍線部直後の「寝殿造りには人間の住まいの一つの理想の姿があった」などがヒントです。正答率は44%でした。

**問5【文脈把握と内容理解】**（解答番号は **31**）

傍線部を含む段落を丁寧に把握する必要があります。

**問6【文脈把握と内容理解】**（解答番号は **32**）

トコ・タナの位置づけがどのように変化したかを掴むことが大事です。中世及び近世のトコ・タナに関して本文に添った内容は①です。正答率は35%でした。

**問7【文脈把握と内容理解】**（解答番号は **33**）

傍線部Dの直前の内容がヒントです。正答率は67%でした。

**問8【内容把握】**（解答番号は **34**）

傍線部を含む一文にある「このスタイル」は「和洋二館様式」を指します。これを理解した上で、傍線部の前後を丁寧に読めば、正解は①になります。②「憧れを抱いた中産階級」、③「西洋式住宅を改良したもの」、④「数寄屋の手法が庶民住宅に影響を与え」、⑤「大正から昭和にかけて」（限定しすぎ）、⑥「前時代の良い点のみを踏襲しつつ」以上が間違いです。正答率は31%でした。

**問9【内容把握】**（解答番号は **35**）

傍線部を含む段落をまとめる必要があります。①「戦後間もない頃からアメリカの住環境を手本にしてきた」、②「融和を図りながら」、③「知識人が特に」、④「生活水準の高さに感嘆した人」、⑥「食生活が描かれており」、以上が間違いです。正答率は47%でした。

**問10【小見出し・内容把握】**（解答番号は **36**）

日本住宅の歴史を述べているので正解は⑤です。⑧も正解のように見えますが、継承とその方法までは記されていません。

**問11【小見出し・内容把握】**（解答番号は **37**）

本節にはアメリカの住環境を日本が取り入れたことについて述べています。

**問12【内容合致問題】**（解答番号は **38**・**39**）

それぞれの選択肢の間違ってしている箇所を記しておきます。①「西にある広い庭」、②「寝殿造りには～仕切ること」、③「近世初頭に～取り入れられる」、④「書院造り～間仕切りがされる」、⑥「家族間に関するプライバシーは守られておらず」、⑦「第一次大戦後」、⑨「戦後をどのように豊かに過ごすか」、以上が間違いです。2問とも正答率は12%でした。